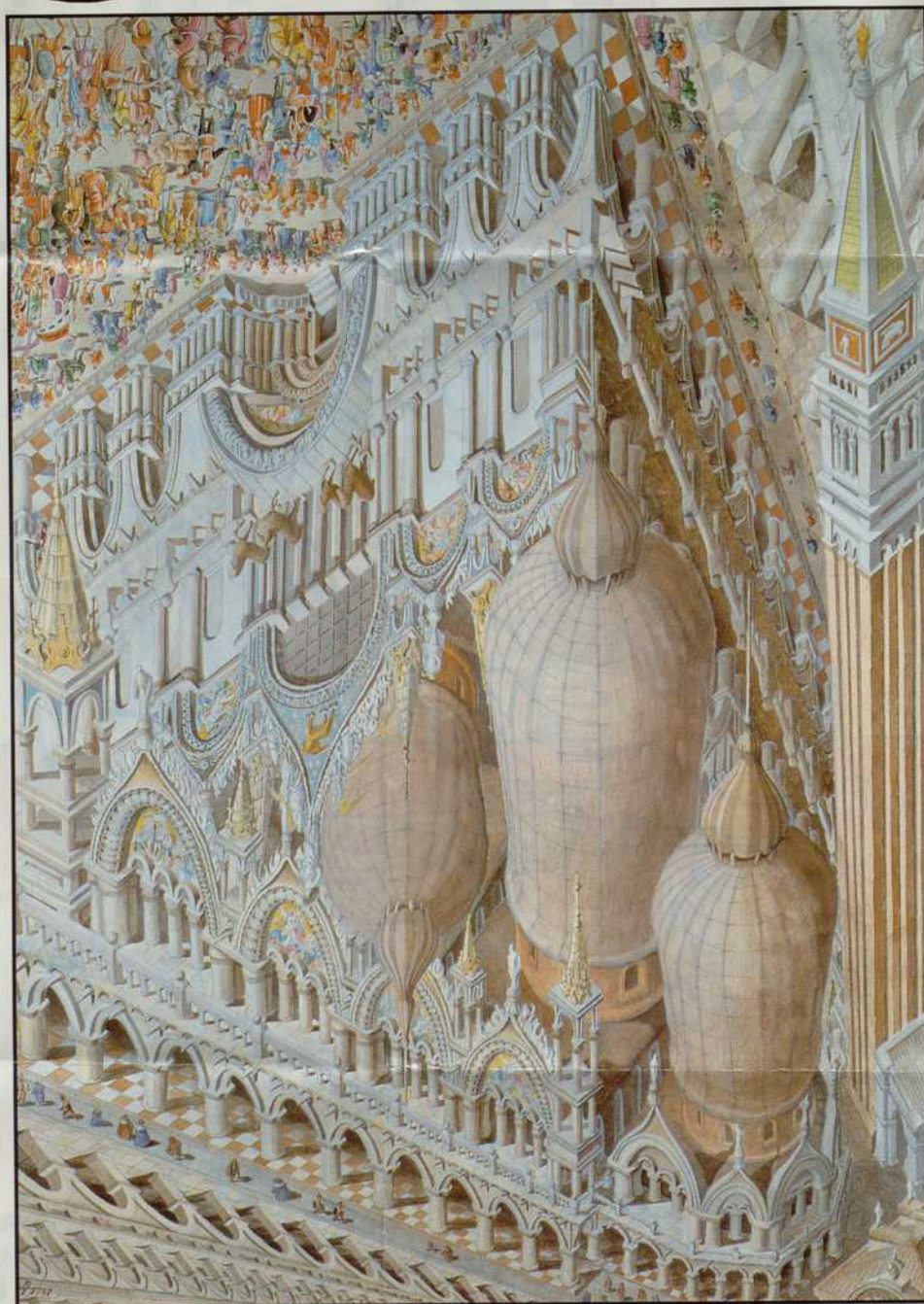




《サン・マルコ大聖堂(ヴェネツィア)》

上村次敏



▲サン・マルコ大聖堂(ヴェネツィア) 油彩 100×72 1982

上下がどうなっているか、一瞬
わけがわからず、思わず目まいが
するような街景図である。

しかし、落ち着いてよく見てく
ださい。おなじみのヴェネツィア
のサン・マルコ寺院とその周辺の
街路がいつも細密に描かれている
ではないか。

ただし、瞻瞰と仰角との二つの
視点があつて交錯していて、驚く
べきパロディ的な映像が生まれて
いる。

これは、一つの視覚の幾何学で
あり、パズルであり、真剣な遊びで
ある。

ヨーロッパでは十七・八世紀の
バロック期に、盛んにこの種の絵
画が描かれ、日本では幕末の十九
世紀に同様の現象(国芳・芳藤など)
が見られた。そして今また、エッ
シーの感化もあつて新しい「だま
し絵」が注目をあびつつある。

これは画家による最大の作例で
ある。気宇壮大で如何にも楽しい
ではないか。

(瀬木慎二)

へうえむ・つぐとし

- 一九三九 福岡県久留米市に生まれる
- 一九五九 第三回シエル美術賞受賞
- 一九六三 現代日本美術展入選
- 第三回パリ青年ビエンナーレ

展出品

- 一九六四 第三回ヨーロッパ日本国際青
年美術家展入選
- 一九六七 国際青年美術家展入選
- 一九八二 青木画廊にて個展